

東海市スポーツ推進計画

③「スポーツ指導者バンクプロジェクト」

1 目的

スポーツに関する指導者を探している団体と指導者をつなぎ、スポーツ活動が継続的に行われている状態を目指す。

地域や学校、職場、各種スポーツ教室等の場面において、体力や年齢、技術レベルに応じて指導することができる人やスポーツイベントにボランティアとして関わりたい人を登録し、派遣できる体制を整備する。

2 スポーツ指導者バンクの必要性

(1) 指導者の確保

この先の中学校部活動の地域移行は、生徒にも教職員にもメリットがあるが、これまで教職員が担ってきた指導者を地域で補っていかなければならない課題があり、スポーツ団体のみならず、地域や大学、企業なども含め、市全体から指導者を発掘し、確保する必要がある。

また、近年、スポーツニーズの高度化・多様化に伴い、安全で適切な指導を行うことができる指導者を確保する必要がある。

(2) 指導者の資質の向上

学校部活動において、外部指導者を導入している学校では、指導面（教育的観点、人権問題）においてのトラブルの話聞くことから、生徒の安全を守ることでも重要な役割であり、そうした指導者の育成を図る必要がある。

また、市全体の指導者の資質を向上させることが、子どもたちの成長や市全体のスポーツ力の向上につながることから、指導者が学べる機会の提供や体制を整える必要がある。

3 進め方（方向性）

(1) 地域クラブ活動に派遣できるよう準備を進める。

本市の中学校部活動は、令和7年9月から土日は行わないとしており、市が地域クラブ活動と位置づけ、支援をする一般社団法人スポーツクラブ東海の「ジュ

ニアクラブ事業」の継続的な実施及び種目や活動場所の拡充がされるよう、指導者の確保及び派遣する体制を整える。

- (2) 各種スポーツ団体や地域スポーツ活動、また個人や家族に派遣することができるよう準備を進める。
- (3) 指導者の登録にあたっては、適切な指導のできる者を認定するよう登録条件を整備するとともに、指導者の資質の維持・向上を図れるよう、定期的な講習会の実施に努める。
- (4) 登録及び派遣にあたっては、年齢区分（小学生、中学生、高校・一般、高齢者）や技術レベル（競技・趣味的）に応じた様々な依頼に対応できる制度とする。

3 制度設計に向けて

- (1) 東海市スポーツ指導者バンク設置要綱等：別紙のとおり
- (2) 今後の予定

令和6年 7月 設置

8月 募集開始

令和6年度は指導者の確保に努め、令和7年度からの本格運用を見据え、指導者の派遣及び講習会などの体制整備を行う。

10月 令和7年度予算要求

令和7年 2月 スポーツクラブ東海「認定指導者講習会」との連携

4月 本格運用スタート

4 その他

今後、愛知県が構築した「あいち地域クラブ活動人材バンクシステム」の動向に注視しながら、東海市スポーツ指導者バンク制度の運用において連携方法など模索しながら進める必要がある。